



# 北方領土

平成27年3月(第2号)

発行元:北方領土返還要求運動福島県民会議

## 福島県民会議通信



この「北方領土福島県民会議通信」では、北方領土返還要求運動に取り組む福島県民会議の主な活動の様子についてご紹介しています。北方領土問題について、ひとりひとりが関心を深めることで、北方領土の早期返還を実現させましょう！

### 都道府県民会議代表者全国会議【平成26年11月30日】

各都道府県民会議の代表者が集まり、各県の取組事例の発表や返還要求運動の課題等について話し合う「平成26年度都道府県民会議代表者全国会議」が東京都で開催されました。

本県民会議からは、瀧本推進委員ら2名が出席し、北海道・東北ブロックを代表して、ブロック内の啓発に関する取組事例などを紹介しました。

また、外務省欧州局ロシア課 課長補佐 寺尾 長 氏による講演が行われ、「日露関係と北方領土問題」と題して、昨今のウクライナ情勢の影響を踏まえた上で、対露外交の方針等についての説明がありました。

会議終盤には、内閣府北方対策本部審議官 山本 茂樹氏が会場を訪れ、若い世代への啓発の重要性を訴えるなど、これからも一致団結して返還要求運動に積極的に取り組むように呼びかけがあり、各県民会議の出席者一同から拍手と歓声が沸き起こりました。



運動について全国の推進委員らが意見を交わす

### 北方領土返還要求中央アピール行動【平成26年12月1日】

根室市長が会長を務める北方領土隣接地域振興対策根室管内市町連絡協議会の主催により、「北方領土返還要求中央アピール行動」が東京都で実施されました。



出発式でシュプレヒコールを行う様子

昭和20年12月1日、当時の根室町長が連合国最高司令官マッカーサー元帥に対し、北方領土返還を求める陳情書を提出した歴史的経緯にちなみ、この12月1日を「北方領土返還要求運動のはじまり」の日と位置付け、北方領土問題に対する国民世論の喚起高揚を図ることを目的に毎年行われています。当日の出発式では、全国の都道府県旗を並べて、北方領土が日本固有の領土であることを参加者全員で唱和しました。

今年はいにくの小雨の中、全国の県民会議など関係団体から500人を超える参加者が銀座から日比谷公園までの約2.2kmの道のりを行進しました。残念ながら、雨の影響で県旗を掲げて行進することはできませんでしたが、参加者全員が「北方領土は日本の領土！国民世論を盛り上げよう！」と大きな声をあげることで、北方領土返還要求運動に全国一丸となって取り組む姿勢をアピールしました。本県民会議からは瀧本事務局長ら2名が参加しました。



小雨の中、声を上げて行進する参加者

## 北方領土返還要求全国大会【平成27年2月7日】

2月7日は「北方領土の日」であり、毎年「北方領土返還要求全国大会」が全国地域婦人団体連絡協議会、全国知事会、内閣府などで構成する実行委員会により開催されています。

今年も、東京都の日比谷公会堂で開催され、全国から約1,700人が参加しました。本県からは3名が参加しています。

大会には、安倍内閣総理大臣、岸田外務大臣、山口北方担当大臣のほか、各政党や国会議員の出席もありました。安倍総理は挨拶の中で、「北方四島の帰属の問題を解決して、日露平和条約を締結するという政府の基本方針に則り、北方領土問題の最終的な解決に向け、粘り強く取り組んでいく。戦後70年の節目の年だが、いまだ平和条約が締結されていないことは異常だとの認識はプーチン大統領と一致した。本年の適切な時期にプーチン大統領の訪日を実現するため準備を開始することで一致している。元島民が高齢になられ、早急に解決を図らなければならないことを肝に銘じて対応していく。引き続き力強い支援と協力をお願いします。」と述べました。

大会では、最後に「北方領土問題を解決し、日露間に平和条約を締結し、両国間に真の平和と友好が構築されることを求め、今後も北方領土の返還要求運動に取り組む」とのアピールを採択しました。(写真提供:独立行政法人北方領土問題対策協会)



各政党の代表らが登壇した会場ステージ



来賓あいさつをする安倍内閣総理大臣

## 北方領土返還運動全国強調月間【平成27年2月】

2月は「北方領土返還運動全国強調月間」であり、全国で積極的な返還要求運動が展開されました。

本県民会議では、北方領土返還要求運動の盛り上がりを図るため、パネル展、上映会を行ったほか、県内の主要駅(JR福島駅、郡山駅、いわき駅、会津若松駅、新白河駅)及び飯坂電車内でのポスター掲示、県内4市(福島市、郡山市、いわき市、会津若松市)を走行する路線バスにバスマスクの掲示を行うなど、運動への理解と参加を広く呼びかけました。



飯坂電車内に掲示した中吊り広告

### 2月7日は「北方領土の日」、2月は「北方領土返還運動全国強調月間」

2月7日は、安政元年(1855年)のこの日、伊豆の下田において日露通好条約が平和裏に調印された日であり、この条約により、日露両国の国境が定められ、択捉島など北方四島が初めて日本の領土として国際的にも明確にされました。

この歴史的な意義と、平和的な外交交渉によって領土の返還を求める運動の趣旨から、政府は昭和56年1月6日の閣議了解により、2月7日を「北方領土の日」として決めました。

また、昭和61年9月に根室市で開催された都道府県民会議代表者全国会議において、「北方領土の日」が設定されている2月を「北方領土返還運動全国強調月間」として設定し、全国で積極的な運動を展開することとしました。

【参考資料:平成26年度 北方領土問題解説資料(内閣府北方対策本部)】

## 北方領土パネル展【平成27年2月2～5日】

2月2日～3日に県庁舎内連絡通路、2月4日～5日にコラッセふくしま1階アトリウム(福島市)にて「北方領土パネル展」を実施しました。

展示したパネルは、「北方領土はどこにあるのか?」、「北方領土問題とはどういった問題なのか?」といった基本的な点を確認して、北方四島の歴史やこれまでの外交状況について学ぶことができる構成となっています。

コラッセふくしまに来場された方からは、「知っているようで知らないこともあった。家に帰ったら孫にも話をして伝えたい。」とのお声をいただき、啓発用に配付したグッズをお孫さんへのお土産にお持ち帰りいただきました。



コラッセふくしまにて開催したパネル展の様子

## 映画「ジョバンニの島」上映会【平成27年2月5日】



北方領土パネル展の開催とあわせて、コラッセふくしま(福島市)にて「映画『ジョバンニの島』上映会」を開催しました。

この映画は、第2次世界大戦の直後、北方四島で起きた出来事を題材にして制作されたアニメーション映画で、実在する元島民の方を主人公のモデルにしています。

当日は、40人ほどの方々が来場され、北方四島に突如としてやってきたソ連軍が引き起こす混乱や不安の中、賢明に生きようとする日本人たちの姿に、涙を流して鑑賞される方も見られました。

上映後、映画を鑑賞した皆さんからは、「感動した。」「とても良かった。」などの感想が寄せられ、**実話をもとに制作された映画から、当時の島民の生活の様子などを感じ取っていただくことができました。**当日、来場者の方にご記入いただいたアンケートの中から、一部の感想コメントをご紹介します。



映画を鑑賞する来場者ら(コラッセふくしま)

### 来場者から寄せられた映画の感想

- ・ 私たちの世代の話で大変感銘した。あのような生活をしていたものとは知らなかった。北方領土が北海道からわずかしか離れていないと思うと、早く返還してほしい。
- ・ 感動のあまり涙が止まりません。現代の子どもたちにも見せてあげたいと思いました。
- ・ 戦争により故郷がなくなるのはとても悲しいこと。日本に返してほしいと思う反面、現在住んでいる人にとっても同じことになってしまうのかも思う。
- ・ 返還運動強調月間に、このようなアニメの映画を見て、改めて、当時の大変な生活を知ることができ、感動しました。
- ・ 未だに北方領土問題が解決しないことに胸が痛みます。このアニメーションをたくさんの人に見てもらいたいです。

### 【編集・発行】

北方領土返還要求運動福島県民会議

事務局：〒960-8670 福島市杉妻町2-16 (福島県知事直轄県民広聴室内)

TEL:024-521-7013 Fax:024-521-7934 Mail:kouchou@pref.fukushima.lg.jp



イメージキャラクター「エリカちゃん」、「エリオくん」